

罹災証明申請書

記入例

松野町長 様

〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申請者 (世帯主)	住 所	松野町 〇〇 〇〇 番地	電話番号	000-000-0000
	(※現在の連絡先 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 電話番号 同上)			
	氏 名	〇〇 〇〇		

窓口に来られた方 (申請者と同じ場合 は記入不要)	住 所	松野町 〇〇 〇〇 番地	電話番号	000-000-0000
	氏 名	〇〇 〇〇	申請者との関係	子

罹災原因	令和 〇 年 〇 月 〇 日の 大雨 による
------	------------------------

被災住家※の所在地	松野町大字 〇〇 〇〇 番地 (申請者住所と同じ場合記載不要)
-----------	---------------------------------

※住家とは、現実に住居(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。

住家の被害	☒ 浸水被害 (☒ 床上 ☐ 床下) ☒ その他被害(以下に記入) がけ崩れによる土砂が室内に流入した
-------	---

被災住家の 世帯構成員	氏 名	続柄	生年月日	性別	備考
	〇〇 〇〇	世帯主	S〇〇年 〇 月 〇 日	男	
	〇〇 〇〇	妻	S〇〇年 〇 月 〇 日	女	
	〇〇 〇〇	子	H〇〇年 〇 月 〇 日	男	
			年 月 日		
			年 月 日		

写真による被害 区分の判定(※)	☒ 希望する(写真を添付) ☐ 希望しない
---------------------	--

※ 下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。

- ・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合
- ・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合
- ・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合
(「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定となります)

※ 添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。

罹災証明書 の必要枚数	1 枚
----------------	-----

罹災状況内部 利用同意欄	☒ 上記証明内容について関係機関等への提供に同意します。
-----------------	--

罹災証明書の 交付方法	☐ 郵送 送付先住所・宛名：
	☒ 役場本庁窓口 ☐ 避難所()